

第1回

吹田市自転車利用環境整備計画会議

《吹田市自転車利用環境整備計画 (H29.3) の概要》

基本理念

誰にとっても自転車を安心・安全・快適に
利用できる環境づくりの推進

目的

「はしる」・「まもる」・「とめる」・「つかう」の4本の柱の観点から、市民のニーズに合った自転車利用環境を提案し、自転車利用者にとって安心・安全で快適な利用環境を整備する計画を策定

計画期間

- 計画期間は、平成29年度から10年間
- 本計画は、5年後に施策等の見直しを実施
- 10年後には計画の評価、見直しを実施



基本方針

はしる	<ul style="list-style-type: none"> ○車道通行を中心とした安心・安全・快適でわかりやすい自転車通行環境の実現 ○ニーズ等に対応した自転車の通行環境ネットワークを構築
まもる	<ul style="list-style-type: none"> ○「知らない」「知っている」から「守っている」へ行動の変化を促す、理解を深める安全教育の実施 ○自転車のルール・マナーを自転車利用者だけでなく、歩行者・ドライバーにも周知・徹底 ○ライフステージに合わせた安全教育の実施
とめる	<ul style="list-style-type: none"> ○多様なニーズに対応した、便利で使いやすい自転車駐車環境の実現 ○地域や商店街等と協働した取組みによる放置自転車の削減
つかう	<ul style="list-style-type: none"> ○住民及び来街者の自転車利用の利便性向上による利用促進（自動車からの転換促進） ○レジャーやスポーツ等を通じた自転車利用の促進や、自転車関連イベントなどの実施による、自転車文化の創造・発展

《見直しの主な目的》

◆施策の進捗の促進

○自転車の通行空間の整備や安全教育の推進など、計画前期における進捗が芳しくないため、より進捗を促進させるための方策や具体化を図る。

◆新たな施策の追加

○基本的には既存の施策は継続させるものとし、シェアサイクルの実施など新たな施策を追加する。

◆目標設定の見直し

○中間の目標値を確認し、必要に応じて最終の目標値の継続または再設定を行う。

令和3年度 吹田市自転車利用環境整備計画中間見直し策定会議 スケジュール

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
令和3年度	第1回会議	■						計画の進捗報告と見直しの方向性についての議論 「はしる」「まもる」「とめる」「つかう」の4つの視点で意見交換
	第2回会議			■				パブコメに諮る見直し案の提示
	パブリックコメント				■			
	第3回会議						■	パブコメの結果報告 パブコメの意見を踏まえた最終案の提示

1 国・府の動向

2 課題の整理

3 進捗の評価と見直し内容について

「はしる」「まもる」「とめる」「つかう」のそれぞれの
項目ごとに整理

国の関連計画

自転車活用推進法

施策の基本を定め自転車活用を総合的かつ計画的に推進する

目標

自転車は二酸化炭素等を発生させず、災害時において機動的
自動車依存の低減により、健康増進・交通混雑緩和等、経済的・社会的な効果
交通体系における自転車による交通の役割の大
交通の安全の確保

第1次自転車活用推進計画(2017)

自転車活用推進法に基づき、自転車の活用の推進に関する基本計画

目標

自転車交通の役割拡大による良好な都市環境形成

自転車通行空間の計画的な整備の促進
シェアサイクルの普及促進

サイクリングスポーツの振興

自転車を利用した健康づくりの啓発

サイクルツーリズムの推進

走行、受入環境整備によるサイクリング環境創出

自転車事故のない安全で安心な社会の実現

学校における交通安全教室の開催等の推進

第2次自転車活用推進計画(2021)

自転車活用推進法に基づき、自転車の活用の推進に関する基本計画

追加の目標

計画期間：2025年度まで

- 企業の自転車通勤のための環境整備を更に推進
- 安全で快適な自転車通行空間の創出のため、都市部を中心に計画策定し整備を推進。
- シェアサイクルへのMaaSやAIの活用
- 新たな施策の追加
 - ・ 多様な自転車の開発・普及
 - ・ 損害賠償責任保険等への加入促進

府の関連計画

大阪府自転車通行空間10か年整備計画

対象期間：2016年度～2025年度

- 「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき自転車に係る道路交通環境の整備を進め、現道のさらなる自転車、歩行者の安全確保のための整備方針を定める。
- 目標整備延長は、緊急3か年計画の62kmを含む約200km（現道の府管理道路）。今後市町村の自転車ネットワーク計画策定によって変動。

《整備区間》

- 幅員3.5m未満の歩道区間。
- ただし、幅員3.5m以上の自転車歩行者道のうち、歩行者の多い区間や自転車通行空間の連続性が必要な区間は整備を検討。
- 市町村の自転車ネットワーク計画の策定状況を踏まえ、2021年度までは追加等の検討を行う

大阪府自転車活用推進計画（2019）

計画期間：2025年度まで

本計画は自転車活用に関する施策の総合的かつ計画的な推進及び2025年大阪・関西万博の開催決定等を踏まえ、大阪府の自転車政策に関する最上位計画として位置付ける。

《目標及び実施すべき主な施策》

1. 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
 - ・ 自転車通行空間の計画的な整備
 - ・ 生活道路における通過交通の抑制など
2. サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現
3. 観光振興に資するサイクルツーリズムの促進
4. 自転車事故のない安全で安心な社会の実現
 - ・ 学校における交通安全教室の開催
 - ・ 広報啓発活動の推進や指導・取締りの実施

市民アンケートの実施

- 市営駐輪場の利用者、市内3高校の2年生、3中学の2年生、3小学校の6年生を対象に自転車利用に関するアンケートを実施し、アンケートの結果を踏まえ、課題の整理や満足度の確認・目標設定等を行った。
(前回の計画策定時も同様)

<アンケートの主な内容>

○自転車の利用実態

所有の有無、自転車の種類、利用頻度、利用目的、利用の距離・時間

○ルート選定要素、危険を感じる時

○保険加入の有無、ヘルメット着用の有無

○ルール・マナーの遵守と認知度

○車からの利用転換の可能性

○満足度

自転車走行時の安全性、自転車利用者のマナー、自転車の駐車環境、総合的な自転車利用環境

○属性（年齢、性別、居住地、免許の有無）

※2021年7月上旬に実施

	配布数	回収数	回収率
市民アンケート (市営自転車駐車で配布)	2,000枚	489枚	24%
高校生アンケート (市内3高校の2年生対象)	1,007枚	942枚	94%
中学生アンケート (市内3中学の2年生対象)	370枚	324枚	88%
小学生アンケート (市内3小学の6年生対象)	370枚	317枚	88%
計	3,747枚	2,058枚	55%

課題の整理(市民アンケートより)

※以下の「満足」は「非常に満足」「満足」の合計、
「不満」は「不満」「やや不満」の合計

はしる	<p>○自転車通行環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・一般市民の満足度は「不満」が約3割と「満足」の約2割より多い・整備を望む自由意見が多い。・ルールを守るためにも自転車利用の促進のためにも必要という意見あり
まもる	<p>○自転車のルール・マナーの周知徹底</p> <ul style="list-style-type: none">・一般市民の満足度は「不満」が約4割と多い・左側通行以外はルールの認知度が低くなる。・自転車の走り方に対する不満等の自由意見が多い <p>○周知活動、街頭指導、学校での安全教育が必要との意見</p>
とめる	<p>○使いやすさなどの利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・一般市民の満足度は「満足」「不満」とともに約3割・使いやすさや利便性を求める自由意見が多い。
つかう	<p>○総合的な自転車の利用環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・一般市民の満足度は「満足」が約2割

課題の整理（前回計画からの継続及び進捗等より）

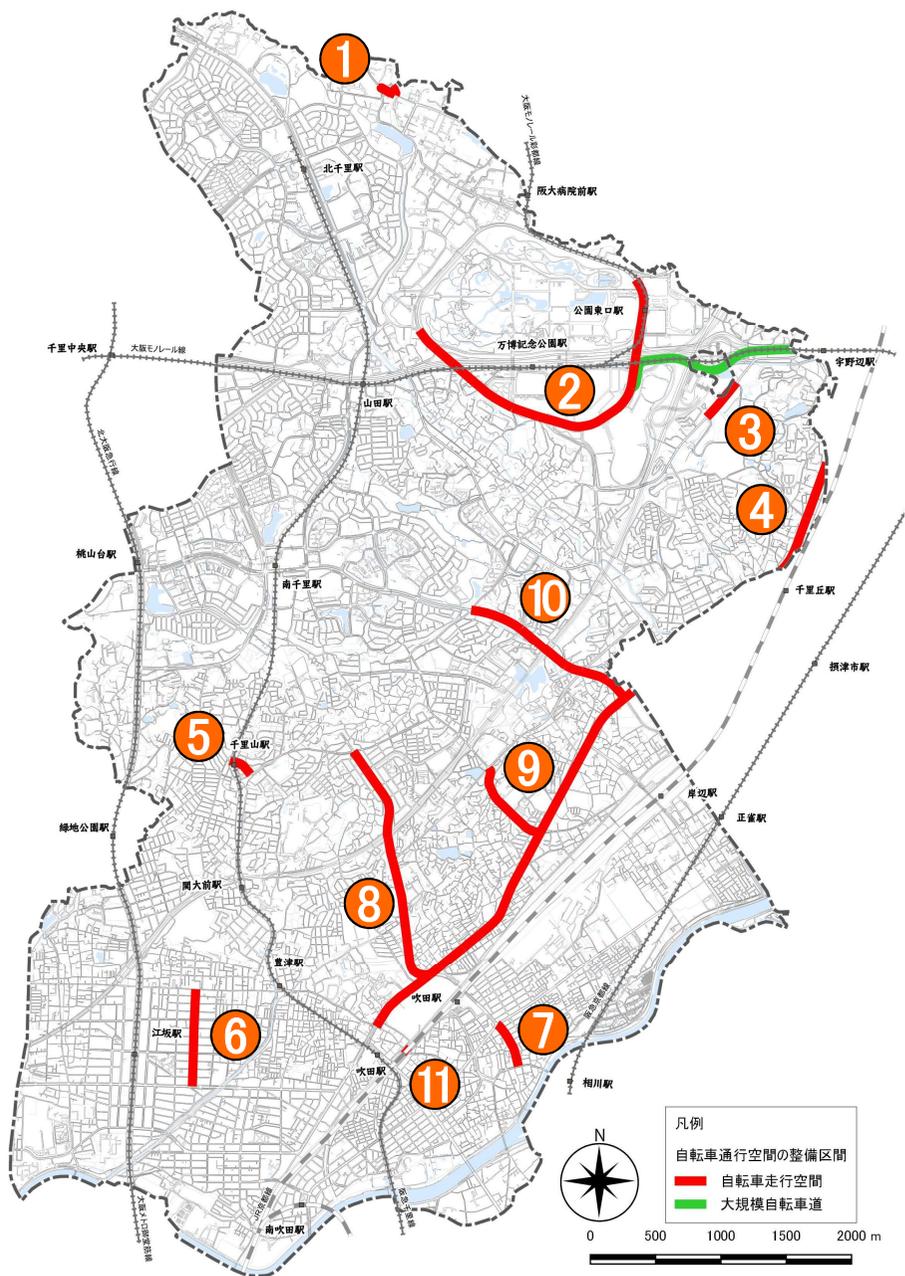
はしる	<p>【継続】①安心・安全・快適でわかりやすい自転車通行環境整備</p> <p>【継続】②自転車の車道左側通行の徹底</p> <p>【継続】③歩行者が安心して安全に歩ける歩行環境の確保</p> <p>【追加】④自転車通行環境整備の促進（スピードアップ）</p> <ul style="list-style-type: none">・整備の進捗が遅れているため整備促進が必要
まもる	<p>【継続】①自転車のルール・マナーの周知徹底と理解の浸透</p> <p>【継続】②周知活動と学校教育のさらなる充実</p> <p>【継続】③保険加入の促進</p> <p>【追加】④ライフステージに応じた安全教育の具体化と推進</p> <ul style="list-style-type: none">・各年代で有効な教育実施の推進が必要（主体や内容の具体化が重要）
とめる	<p>【変更】①自転車駐車が不足している、「JR吹田駅」「江坂駅」「岸辺駅」における自転車駐車の拡大、地域の駐輪ニーズに応じた自転車駐車の確保</p> <ul style="list-style-type: none">・「放置自転車が多く」をなくして、「岸辺駅」を追加 <p>【継続】②自転車駐車の使いやすさや多様な車種への対応</p>
つかう	<p>【継続】①自転車利用の促進</p> <p>【変更】②シェアサイクルの充実と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none">・既存のレンタサイクルを廃止してシェアサイクルを導入

「はしる」について

施策の進捗と評価

項目	方向性	具体的な取組内容	実施スケジュール			評価	平成29年度～令和3年度の取組状況(予定含む)	今後の取組等の予定				
			中間見直し									
			短期 ～3年	中期 ～6年	長期 ～10年							
はしる	1	安全でわかりやすい自転車通行空間の整備	優先度を考慮しながら順次整備			△	市道6路線約4.5kmを整備(ネットワーク路線の市道の約1割)整備の進捗に遅れがある。	引き続き整備を継続				
	2	わかりやすい案内誘導表示の設置				注意喚起等の看板及び路面表示の設置	○	車道混在の整備がされた2路線に注意喚起の看板を随時設置。	路面表示等の検討が必要			
	3	自転車通行空間ネットワークの形成				自転車ネットワーク路線の選定	○	ネットワーク路線の道路を整備している				
						整備形態の選定	○	車道混在を基本として整備を進めている				
						優先整備路線の整備	○	計画での優先順位と周辺道路の状況等を考慮している				
	4	自転車ネットワーク路線以外の安全対策の実施				危険度が高い路線、箇所等の安全対策の実施	随時整備			○	1ヶ所整備実施 一方通行に変更した非幹線道路において、自転車の走行箇所が分かりにくくなるため、交差点等に矢羽根を設置	必要に応じて随時整備予定
						非幹線道路における整備	随時整備			○		
	5	整備路線に関する情報提供				ホームページ等による周知	整備区間において随時実施			○	令和元年度より、通行空間整備箇所を周知するようホームページを更新	随時、整備した路線を紹介
						現地利用者及び周辺住民に対する周知・啓発				△	1路線で実施 H30年度施工の山田佐井寺岸部線周辺住民へ周知啓発活動の実施	周辺住民ヘチラシの配布を継続的に行う
						整備効果の情報公開				○	市内7路線において自転車の車道左側通行遵守の測定結果をホームページに掲載(H30年度より継続観測実施中)	遵守率の測定を引き続き行う

自転車通行空間の整備状況



⑥(市道)垂水広芝線



⑦(市道)片山高浜線



⑧(市道)千里山東朝ヶ丘



⑨(市道)山田佐井岸辺線



⑩(府道)豊中摂津線

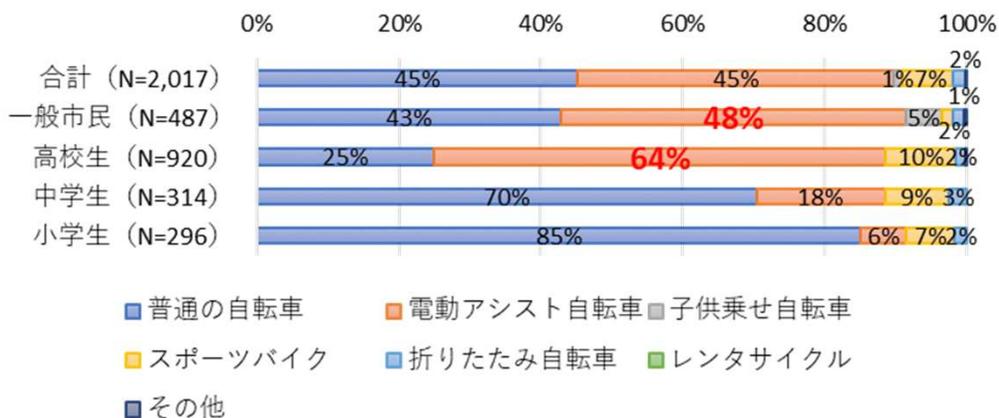


⑪(市道)西の庄町1号線

市民アンケートの結果

電動アシスト自転車の利用率が、一般市民が48%、高校生が64%と、前回と比べてそれぞれ約10%、約40%増加

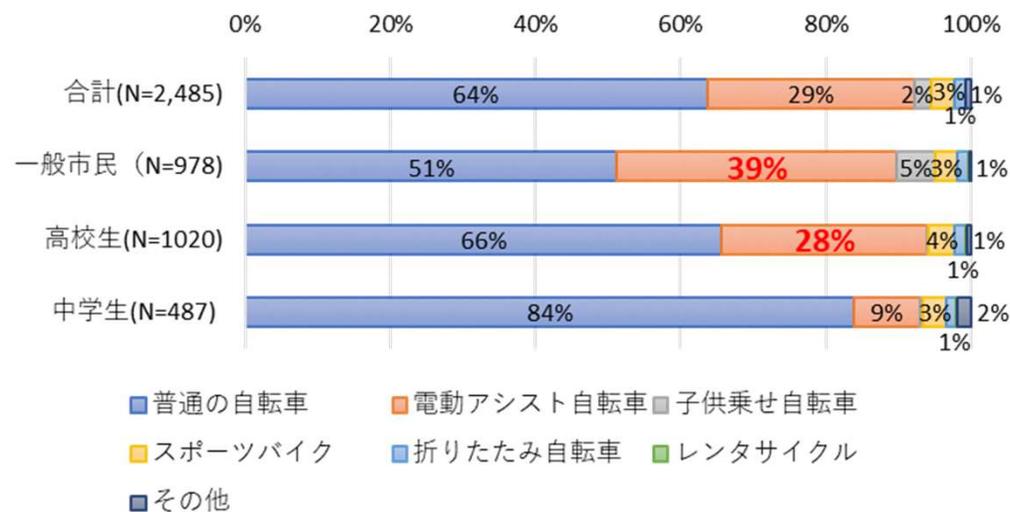
R3年自転車の種類



項目	R3年回答数					R3年割合				
	合計	一般市民	高校生	中学生	小学生	合計	一般市民	高校生	中学生	小学生
普通の自転車	911	209	229	221	252	45%	43%	25%	70%	85%
電動アシスト自転車	898	236	586	57	19	45%	48%	64%	18%	6%
子供乗せ自転車	25	25				1%	5%			
スポーツバイク	146	8	90	28	20	7%	2%	10%	9%	7%
折りたたみ自転車	34	7	14	8	5	2%	1%	2%	3%	2%
レンタサイクル	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
その他	3	2	1	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
回答者数	2,017	487	920	314	296	100%	100%	100%	100%	100%

※斜線についてはアンケートにて設問なし

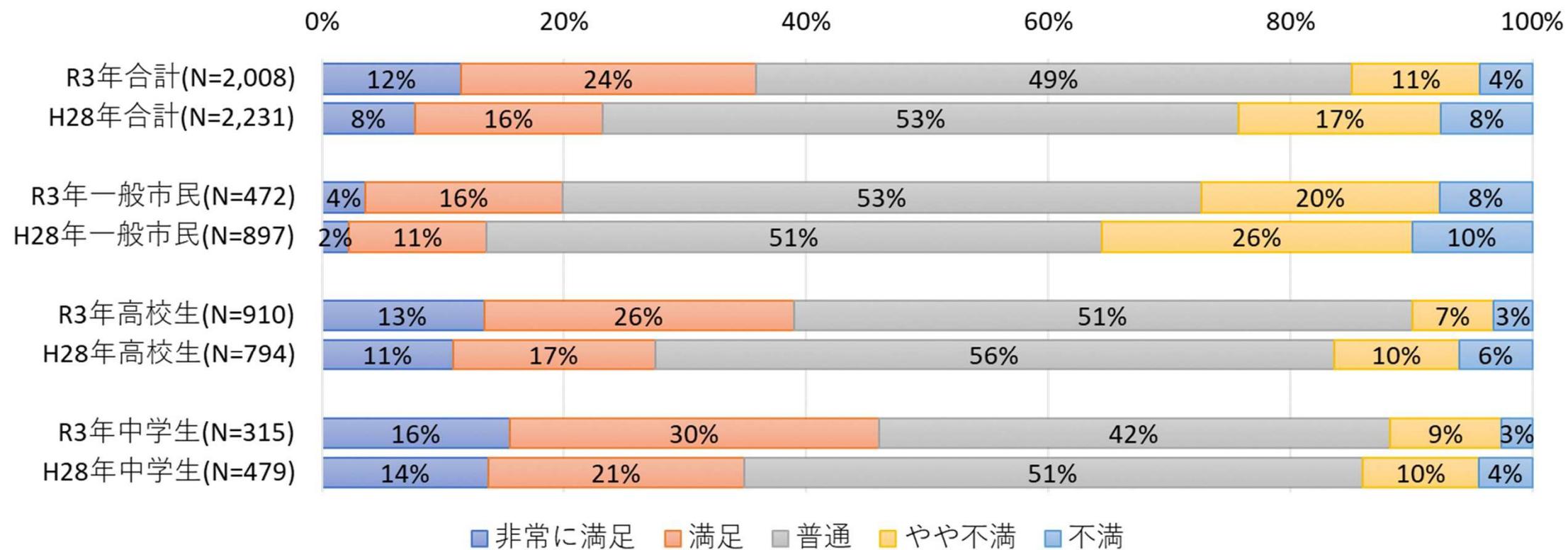
H28年自転車の種類



項目	回答数				割合			
	合計	一般市民	高校生	中学生	合計	一般市民	高校生	中学生
普通の自転車	1,581	502	670	409	64%	51%	66%	84%
電動アシスト自転車	710	377	288	45	29%	39%	28%	9%
子供乗せ自転車	56	52	2	2	2%	5%	0%	0%
スポーツバイク	83	31	37	15	3%	3%	4%	3%
折りたたみ自転車	36	14	15	7	1%	1%	1%	1%
レンタサイクル	2	0	2	0	0%	0%	0%	0%
その他	17	2	6	9	1%	0%	1%	2%
計	2,485	978	1,020	487	100%	100%	100%	100%

自転車走行時の安全性の満足度について、どの属性においても、前回と比べて「非常に満足・満足」が増え、「不満・やや不満」が減っている。

自転車走行時の安全性



目標値について

○市道の自転車通行空間の整備の進捗が遅れている。優先度が高い路線において、整備に向けた各種調整等が難しいなど、思うように進められなかった。そのため、目標値の見直しを考えている。

○市民満足度は、12ポイント上昇したものの、中間目標にはわずかに及ばなかった。

見直し前

見直し案

目標項目 はしる	H27実数 2015	R3中間目標 2021	R3実数 2021	見直し前	見直し案
				R8目標 2026	R8目標 2026
自転車通行空間の整備延長（市道） （km）	0.7	20	4.5	40	25*
市民満足度（自転車通行時の安全性） （%）	24	40	36	50	50

施策の見直しについて

■整備優先度の見直し

- 優先度が高い路線の早期整備は重要であるが、整備に向けた各種調整等が難しいなど、整備に時間等を要する路線も多々見られ、なかなか整備が進んでいない状況
- 整備の進捗を少しでも速めるために、優先度を3段階に再編し、短期に整備が必要な優先度1の路線の中での整備着手の選択の幅を広げる。
- 自転車関連事故が多い路線はもちろん優先度が高いが、市民へのルール等の周知・浸透を早めるためにも、自転車の利用や人が多い駅周辺において早期に整備を進め、市民への認知度の向上をめざす。

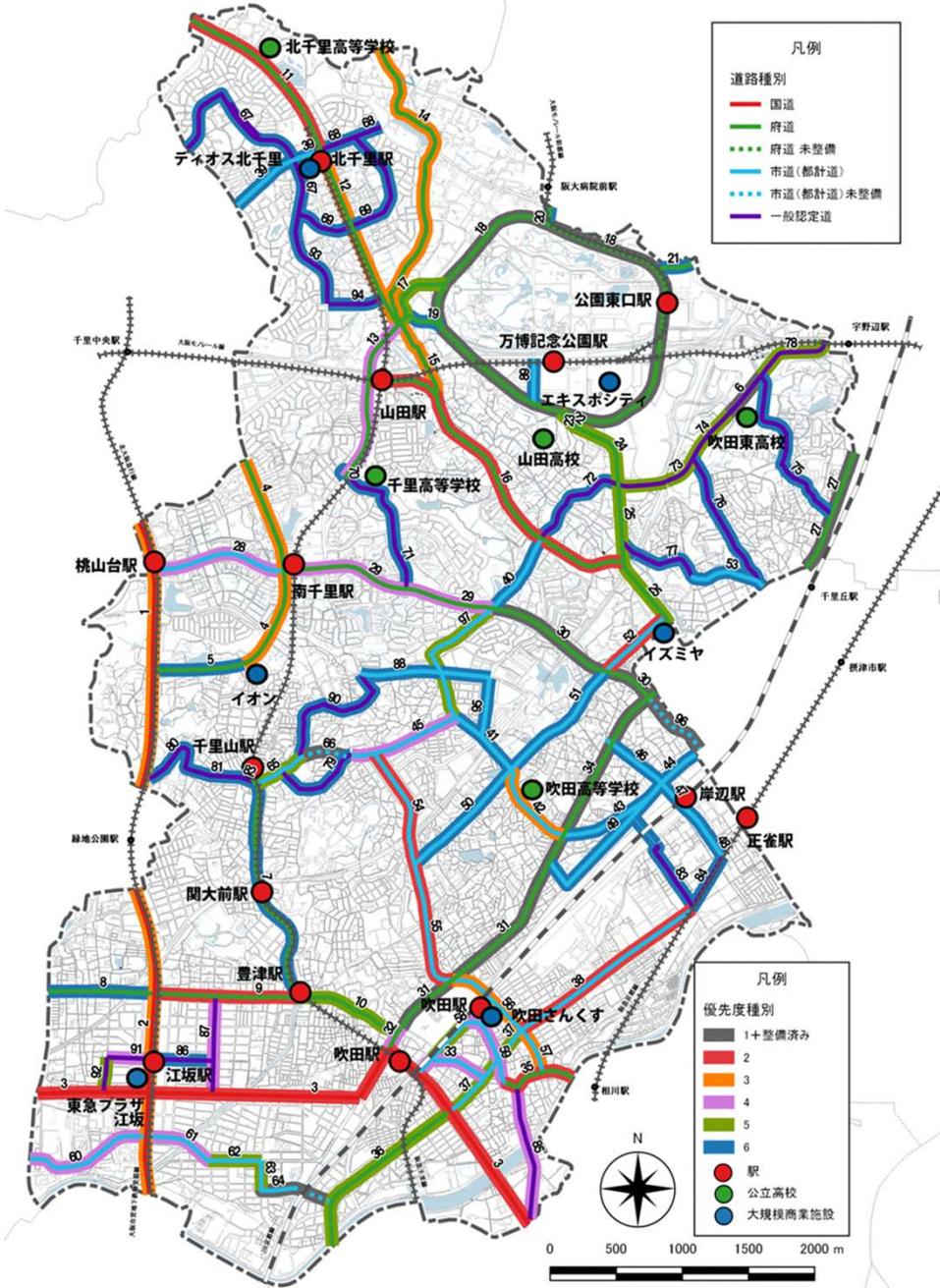
現計画における優先度の考え方

優先度 1	<ul style="list-style-type: none"> ○新規に道路整備を進めている路線 ○自転車通行空間を整備中の路線 ○大阪府自転車通行空間整備緊急3箇年計画(案)で整備が予定されている路線
優先度 2	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車関連事故が多い区間を含み、 ○自転車の交通量が1,400台/12hより多い路線 ○路肩に余裕があるなど早期に整備を進めやすい路線
優先度 3	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車関連事故が多い区間を含み、 ○自転車の交通量が700~1,400台/12hの路線 ○鉄道駅や大型商業施設、学校などの複数の利用が多い施設のアクセス経路となっている路線
優先度 4	<ul style="list-style-type: none"> ○上記以外で自転車関連事故が多い区間を含む路線 ○自転車関連事故が多くはないが、自転車と歩行者の交通量が共に多い区間を含む路線
優先度 5	<ul style="list-style-type: none"> ○上記を接続し、連続性(ネットワーク)を形成する路線
優先度 6	<ul style="list-style-type: none"> ○上記以外の路線

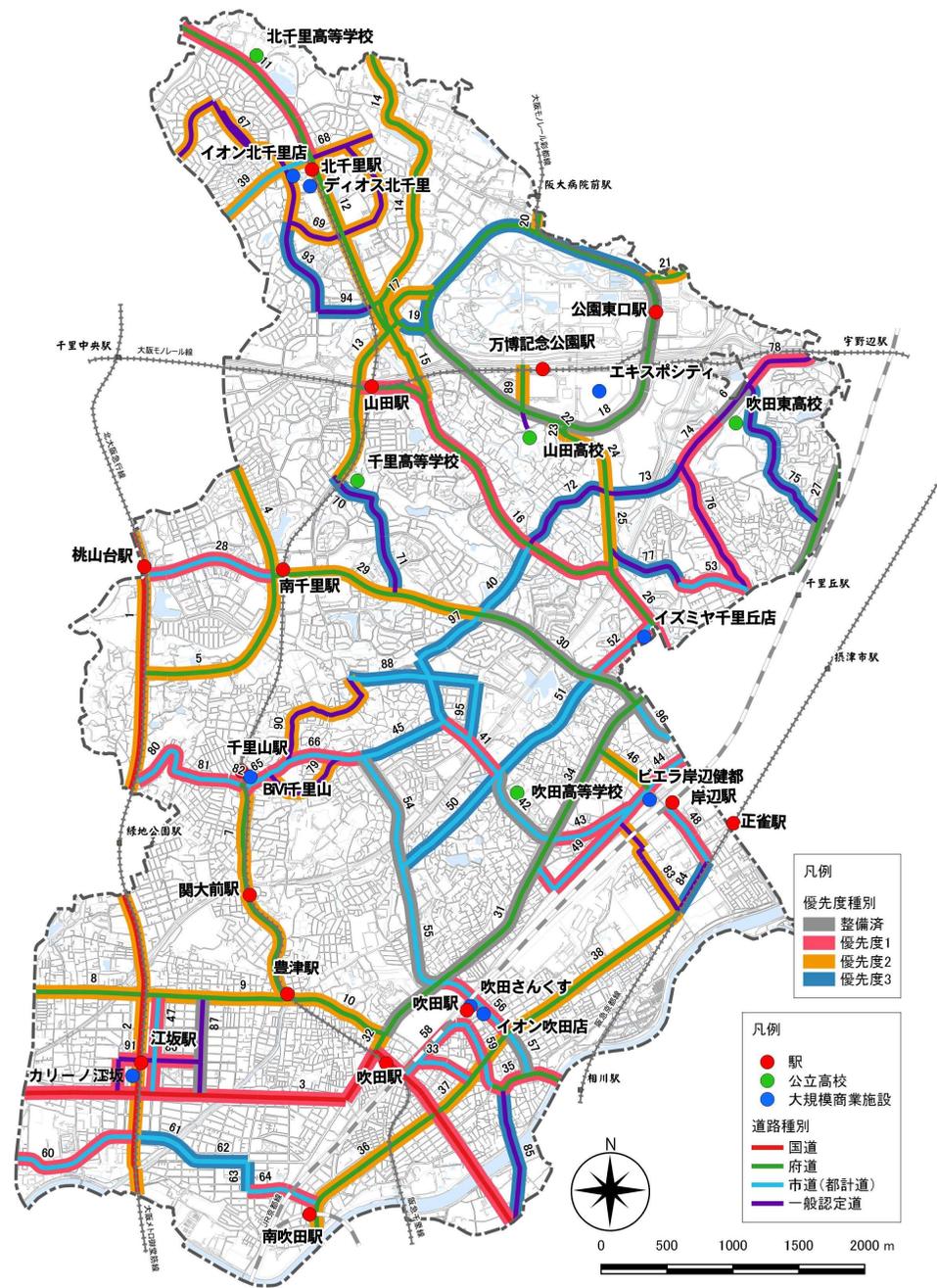
見直し案における優先度の考え方

優先度 1	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車関連事故が多い路線 ○乗降客と自転車利用が特に多い駅周辺の路線(江坂駅・JR吹田駅) ○新たなまちづくりや都市開発等の周辺の都市計画道路(岸辺・千里山・南吹田・万博公園南側) <p>※ただし、上記に該当する国道及び府道については、「大阪府自転車通行空間10か年整備計画(案)(H28~R7)」の掲載路線のみ「優先度1」とし、それ以外の路線は「優先度2」とする。</p>
優先度 2	<ul style="list-style-type: none"> ○乗降客が多い駅周辺の路線(桃山台・関大前・岸辺・北千里) ○上記以外の残りの路線で自転車の交通量が700台/12hより多い路線 ○新たなまちづくりや都市開発等の周辺の都市計画道路以外の路線(岸辺・千里山・南吹田・万博公園南側)
優先度 3	<ul style="list-style-type: none"> ○上記以外の残りの路線

現計画における優先度



見直し案における優先度



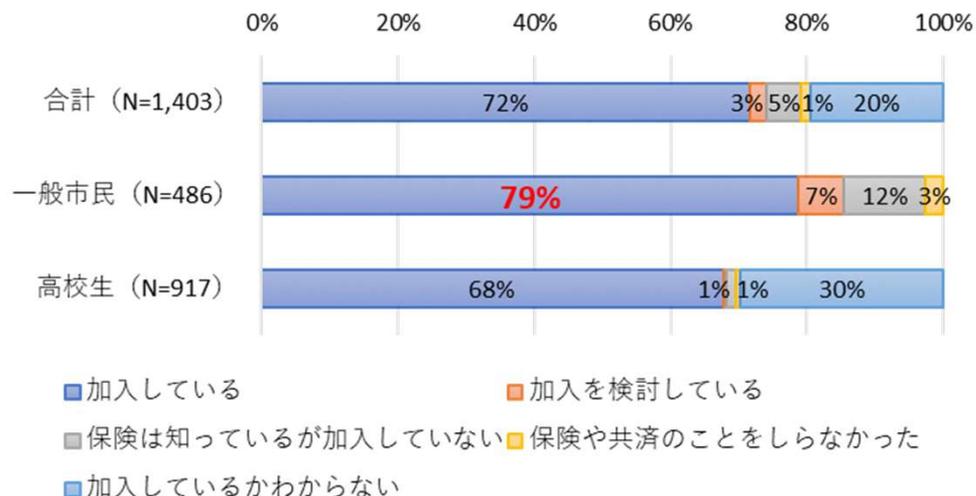
「まもる」について

施策の進捗と評価

項目	方向性	具体的な取組内容	実施スケジュール			評価	平成29年度～令和3年度の取組状況(予定含む)	今後の取組等の予定
			中間見直し ▼					
			短期 ～3年	中期 ～6年	長期 ～10年			
まもる	1 市民・事業者・行政の協働・連携によるルール・マナーの周知・啓発	市民協働による街頭啓発等の強化	継続実施(強化)			○	春及び秋の全国交通安全運動の期間にて、街頭キャンペーンや交通安全講習会等の開催や、ホームページ・ポスター等での啓発を実施。	引き続き啓発を実施
		学校、企業、店舗等と連携した啓発の実施	調整	実施		○	H29～R1年度に、保育園、幼稚園及び小学校へ出向き、交通安全教育を実施(125回程度/年)。R2年度は市内小学校に交通安全の啓発DVDを配布。	幼児、小学校以外への安全教育が課題
		自動車ドライバーへの啓発強化	調整	実施		○	H29～R1年度に吹田警察署と協働し、「めいわく駐車追放キャンペーン」及び「シートベルト着用キャンペーン」を実施。R2年度からはホームページ・市報等において啓発。また、市管理道路にシート看板を設置。	引き続き啓発を実施
		各種イベント等と連携した啓発の実施	随時実施			○	H30は西日本旅客鉄道(株)吹田総合車両所、R1は市立佐竹台小学校にて交通安全キャンペーン・啓発を実施。	引き続き啓発を実施
	2 ライフステージに応じた自転車安全教育の推進	ライフステージに応じた教育内容の実施方法の検討と教育の推進	検討	実施		△	H29から幼児、小学生及び高齢者に対し、年齢に応じた交通安全講習を実施。	幼児、小学校以外への安全教育が課題
		自転車安全教育の指導者の育成	検討	実施		×	進捗なし	吹田市の職員が講習会に参加する保護者から子供たちへ教育してもらえよう、安全教育を保護者へ行う
	3 自転車保険加入の促進	事故リスクの周知と保険加入の啓発	随時実施			○	各種交通安全講習会等で、事故の危険と保険加入の啓発を行った。R2にはホームページ・市報等において啓発を実施	引き続き啓発を実施

市民アンケートの結果

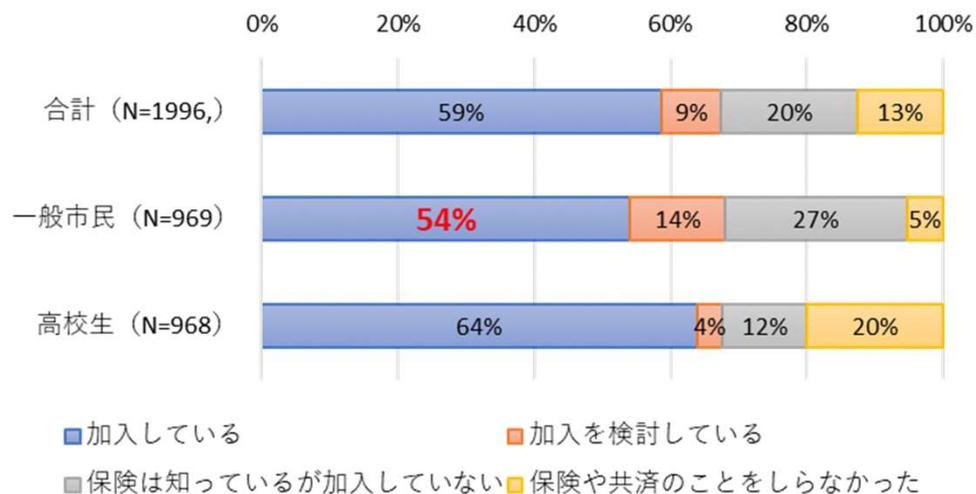
R3年保険加入状況



保険加入率は一般市民が79%と、前回と比べて**25%増加**

項目	R3年回答数			R3年割合		
	合計	一般市民	高校生	合計	一般市民	高校生
加入している	1,004	383	621	72%	79%	68%
加入を検討している	36	32	4	3%	7%	0%
保険は知っているが加入していない	71	58	13	5%	12%	1%
保険や共済のことをしらなかった	18	13	5	1%	3%	1%
加入しているかわからない	274		274	20%		30%
回答者数	1,403	486	917	100%	100%	100%

H28年保険加入状況



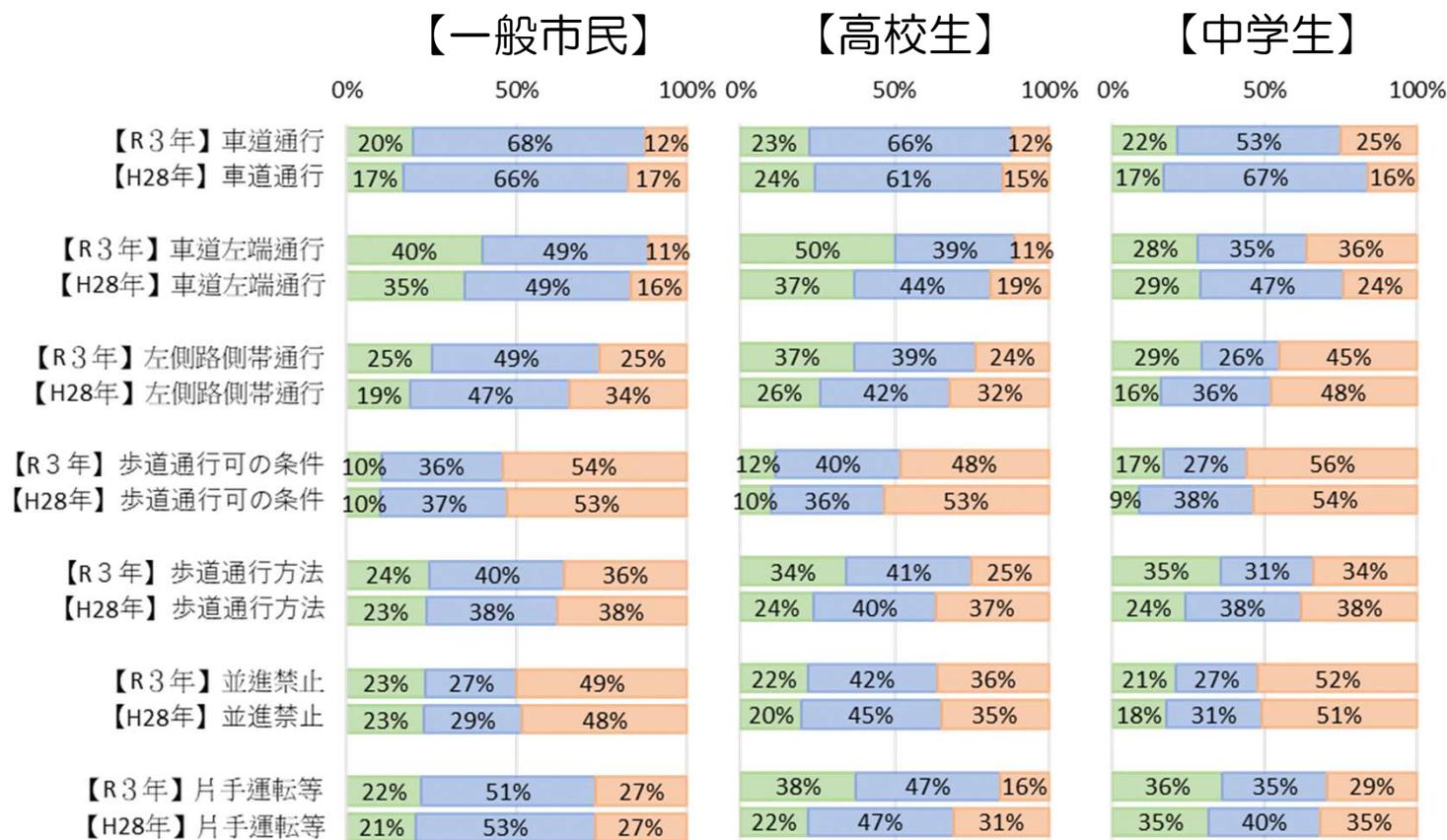
項目	H28年回答数			H28年割合		
	合計	一般市民	高校生	合計	一般市民	高校生
加入している	1170	524	618	59%	54%	64%
加入を検討している	176	134	37	9%	14%	4%
保険は知っているが加入していない	399	260	118	20%	27%	12%
保険や共済のことをしらなかった	251	51	195	13%	5%	20%
加入しているかわからない						
回答者数	1996	969	968	100%	100%	100%

※斜線についてはアンケートにて設問なし

○車道左側通行の認知度は高いが、歩道通行の条件や方法における認知度は半分程度と低い。

○前回と比べて、概ね「守っている・知っている」の割合が増加している。

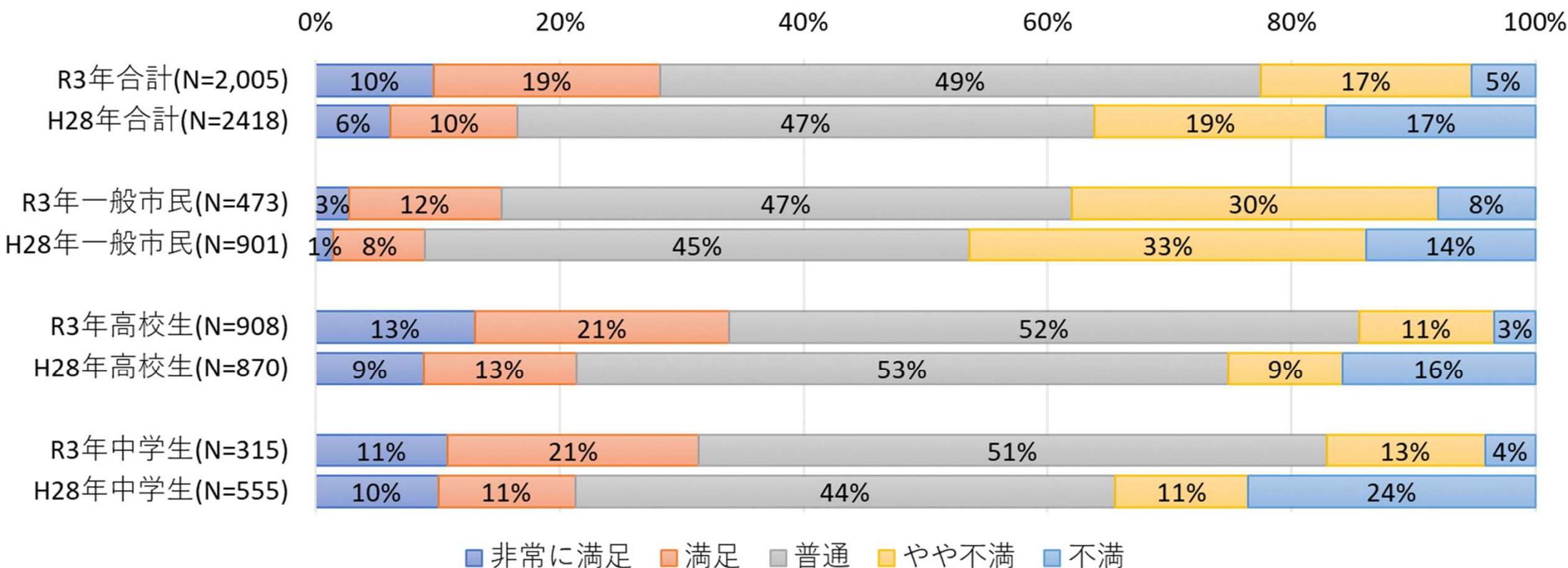
■ 「自転車の通行ルールについて、既に知っているもの・守っているものを教えてください。
(知っているものすべてに○、知っており守っているものすべてに◎)



■ 守っている ■ 知っている ■ 知らなかった

自転車利用者のマナーの満足度について、どの属性においても、前回と比べて「非常に満足・満足」が増え、「不満・やや不満」が減っているが、一般市民においては、「非常に満足・満足」よりも「不満・やや不満」が大きく上回っている。

自転車利用者のマナー



目標値について

- 自転車関連事故件数は減少したものの、中間目標値には及ばなかった。
- 車道左側端通行の遵守割合は未整備路線と整備路線で大きな差があり、整備路線ではほぼ中間目標値に達している。
- 市民満足度は13ポイント上昇し、ほぼ中間目標値に達している。

目標項目 まもる	H27実数 2015	R3中間目標 2021	見直し前		見直し案
			R3実数 2021	R8目標 2026	
自転車関連事故件数 (件)	258	180	229		120
車道左側端通行遵守の割合 (%)	-	60	自転車通行環境整備 の有無※		80
			15 (未整備)	58 (整備済)	
市民満足度 (自転車利用者のマナー) (%)	16	30	29		50

※車道左側端通行遵守の割合は、整備済3路線、未整備4路線における実測調査結果(2020)のそれぞれの平均値

施策の見直しについて

■ラッピングバス等による啓発活動

○クルマ等のドライバーに対して、自転車の側方を通過する際、安全な間隔の確保を促す啓発を行う。

○「1.5m」という具体的な数字を示し、ドライバーの目に留まりやすいよう、バス事業者と協力して、交通安全啓発を促進する。

（阪急バスのラッピングバスと、マグネット板を貼った市公用車で実施予定）



伊予鉄バスの例（愛媛県）

■ライフステージに応じた自転車安全教育の推進を具体化

○各年代に対して、誰が何を実施していくかを具体的に示し、安全教育の実施の促進を図る。
（※次頁、次々頁参照）

市主体
警察主体
市と警察(協議会)
その他(府・事業者など)
—— 実施している
- - - - 実施しているが自転車に特化していない
- - - - 追加案
現在

0歳～	6歳～	12歳～	15歳～	18歳～
幼児	小学生	中学生	高校生	社会人
	低学年	高学年		大学生・専門学校生
				高齢者
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車に慣れる、楽しむ ・自転車の乗り方 ・基本的な運転技術 ・停止と安全確認 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車に慣れる、楽しむ、自立 ・自転車の乗り方 ・基本的な運転技術 ・停止と安全確認、左側通行、歩道通行 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度な運転技術 ・左側通行、歩道通行、基本的なルール、危険の予測と回避 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・車道通行を基本とした交通ルール・マナー ・危険の予測と回避、事故発生時の救護、責任の自覚と他者への配慮 など ・子乗せ自転車(電動アシスト者等)の特性 ・子どもの乗降方法や安全運転、自転車のルール・マナー など 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運転技術、基本的な交通ルール(自動車免許取得者) ・身体機能の衰えの影響、健康促進、事故発生時の救護 など

座学

交通安全教育(歩行)
・基礎知識などの講話

交通安全教育(自転車)
・基礎知識などの講話

交通安全指導(歩行・自転車・二輪車・自動車)
・基礎知識等の講話・DVD視聴

交通安全指導の実施件数(令和●年)

実施対象	回数	人数
中学校	8回	2,786人
高等学校	2回	360人
大学生	5回	885人
高齢者	7回	665人
事業所	68回	4,293人

交通安全子供自転車大阪大会
・競技を通じ自転車の交通安全の知識と技能を身につける。



実技

交通安全教育(歩行)
・正しい歩き方の実践指導

交通安全教育(自転車)
・正しい乗り方の実践

交通安全指導(歩行・自転車・二輪車・自動車)
・基礎知識等の講話・DVD視聴

自転車安全運転講習会
・駅前広場で自転車の交通安全教育実習



自転車安全運転講習会

自転車運転啓発活動



他啓発等

交通安全ポスター公募
・ポスターを公募し啓発に利用
・表彰式を実施

現場での自転車運転啓発活動
・通勤通学時間帯等に現場にて自転車運転者に対しての啓発を実施

神崎川河畔まつりに伴う交通安全クイズ
・児童を含め子供に交通安全クイズを行い、啓発品を配布



交通安全ポスターの表彰式

春秋の交通安全運動期間における街頭キャンペーン
・自転車・二輪車に対する啓発 ・ハンドサイン運動周知 等

自転車ルールブック配布

自転車保険リーフレット等配布



春秋の交通安全運動期間における街頭キャンペーン



大阪府では自転車保険に加入しおければなりません。
新制度 新制度 9,521万円
保険料が大幅に引き下げられ、
自転車保険の普及を促す。

自転車保険リーフレット

市主体
警察主体
市と警察(協議会)
その他(府・事業者など)
—— 実施している
- - - - 実施しているが自転車に特化していない
—— 追加案
未来

0歳～ 6歳～ 12歳～ 15歳～ 18歳～

幼児	小学生 低学年	小学生 高学年	中学生	高校生	大学生・専門学校生	社会人 高齢者
<ul style="list-style-type: none"> 自転車に慣れる、楽しむ 自転車の乗り方 基本的な運転技術 停止と安全確認 など 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車に慣れる、楽しむ、自立 自転車の乗り方 基本的な運転技術 停止と安全確認、左側通行、歩道通行 など 	<ul style="list-style-type: none"> より高度な運転技術 左側通行、歩道通行、基本的なルール、危険の予測と回避 など 	<ul style="list-style-type: none"> 車道通行を基本とした交通ルール・マナー 危険の予測と回避、事故発生時の救護、責任の自覚と他者への配慮 など 	<ul style="list-style-type: none"> 子乗せ自転車(電動アシスト者等)の特性 子どもの乗降方法や安全運転、自転車のルール・マナー など 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な運転技術、基本的な交通ルール(自動車免許取得者) 身体機能の衰えの影響、健康促進、事故発生時の救護 など

座学	交通安全教育(歩行) ・基礎知識などの講話		交通安全教育(自転車) ・基礎知識などの講話	交通安全指導(歩行・自転車・二輪車・自動車) ・基礎知識等の講話・DVD視聴		
実技	交通安全教育(例:キックバイク等) ・自転車に乗るための能力をゲーム感覚で習得	交通安全教育(自転車) ・基礎知識等の講話	交通安全子供自転車大阪大会 ・競技を通じ自転車の交通安全の知識と技能を身につける。	交通安全教育(自転車) ・基礎知識等の講話	自転車教室(例:子乗せ自転車等) ・保護者を対象とした子乗せ自転車講習	自転車安全運転講習会 ・駅前広場で自転車の交通安全教育実習
	交通安全教育(歩行) ・正しい歩き方の実践指導		交通安全教育(自転車) ・正しい乗り方の実践			
他啓発等	自転車シミュレーターによる体験実習 ・通勤通学時間帯等に現場にて自転車運転者に対する啓発を実施					
		交通安全ポスター公募 ・ポスターを公募し啓発に利用 ・表彰式を実施	現場での自転車運転啓発活動 ・通勤通学時間帯等に現場にて自転車運転者に対する啓発を実施			
			春秋の交通安全運動期間における街頭キャンペーン ・自転車・二輪車に対する啓発 ・ハンドサイン運動周知 等			
	神崎川河畔まつりに伴う交通安全クイズ ・児童を含め子供に交通安全クイズを行い、啓発品を配布		自転車ルールブック配布			自転車保険リーフレット等配布
サイクルイベントの開催・支援 ・万博公園で行われるサイクルライド等において交通安全啓発を行う						

「とめる」について

施策の進捗と評価

項目	方向性	具体的な取組内容	実施スケジュール			評価	平成29年度～令和3年度の取組状況(予定含む)	今後の取組等の予定	
			中間見直し ▼						
			短期 ～3年	中期 ～6年	長期 ～10年				
とめる	1	自転車駐車が不足している駅における自転車駐車場の整備	行政による自転車駐車場整備の検討	検討	整備	△	JR岸辺駅周辺において、自転車駐車場の整備や需要予測を実施。 更なる整備に向けて用地確保等を検討。	岸辺駅周辺において用地取得を進行中	
		民間活用による自転車駐車場整備の検討				△	JR岸辺駅北部商業施設(ヴィエラ)開業に伴い、同施設敷地内に自転車駐車場の追加設置を要請し実現。	継続的に実施できていない	
	2	放置自転車防止啓発等の強化	啓発指導員等による啓発の実施	継続実施			○	放置防止指導員の配置時間の見直し。 啓発看板等の設置。	引き続き実施する
			放置防止キャンペーンの実施	随時実施			○	放置防止キャンペーンの実施(11月にJR吹田駅、地下鉄江坂駅にてティッシュの配布)	引き続き実施する
	3	自転車駐車場の質の向上	自転車駐輪ラックや自転車駐車場内の照明・防犯設備等の改善	実施			○	修繕が必要になった照明のLED化、地下自転車駐車場への警報システム導入など 自動管理ゲートシステムへの入替及び防犯カメラの強化	引き続き実施する 今後、修繕予定あり
			多様な自転車に対応した自転車駐車環境の整備	検討	実施		○	電動アシスト自転車・子供乗せ自転車専用スペースの拡充 2段式ラックの撤去、自転車駐車場の収容枠の最適化	引き続き実施する 今後、修繕予定あり
			利用者ニーズに合った附帯機能等の併設	検討	実施		○	電動空気入れ機の設置、身障者等優先スペースの拡充など 電動・チャイルドシート付自転車に対応した駐輪装置の導入 機械化による各種手続の簡素化	引き続き実施する 今後、修繕予定あり
	4	自転車駐車場に関する情報提供の充実	ホームページにおける自転車駐車場の位置や料金等の情報提供	実施			○	各駅ごとに周辺の自転車駐車場の情報を表示	引き続き実施する
			自転車駐車場の満空情報の提供	検討	実施		○	機械化時に満空表示灯を設置 自転車駐車場入口に満空状況を車種(自転車・原付・自動二輪)ごとに表示	引き続き実施する 今後、修繕予定あり

自転車駐車場の質の向上の取組



【阪急吹田駅前西第1自転車駐車場】
電磁式ラック



【江坂駅前中央自転車駐車場】
定期更新機



【阪急南千里駅前第2自転車駐車場】
子ども乗せ自転車専用スペース



【江坂駅前中央自転車駐車場】
機械式出入口ゲート

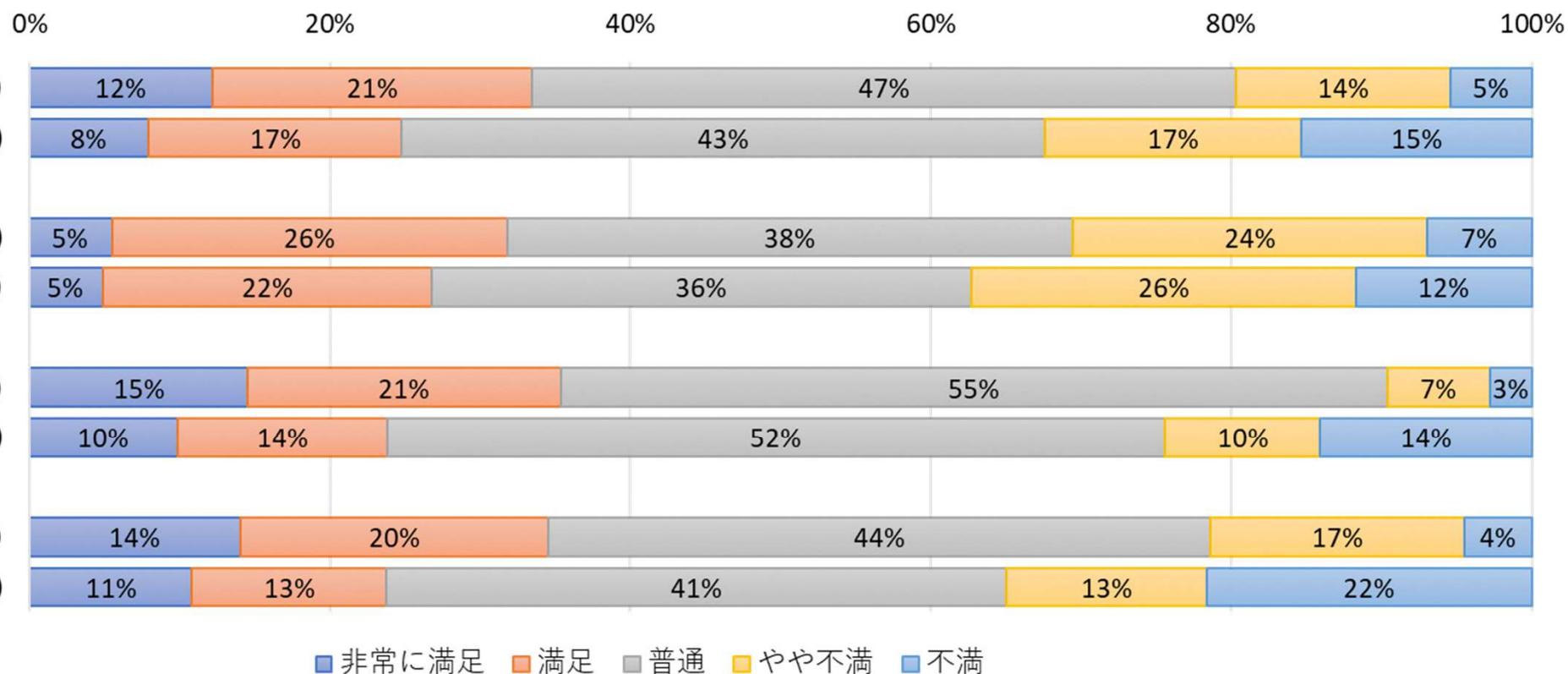


【江坂駅前中央自転車駐車場】
満空表示

市民アンケートの結果

自転車の駐車環境の満足度については、どの属性においても、前回と比べて「非常に満足・満足」が増え、「不満・やや不満」が減っている。

自転車の駐車環境



目標値について

- 放置自転車台数は中間目標値以上に減少が見られたため、R8の目標値の見直しを考えている。
- 市民満足度は8ポイント上昇したものの、やや中間目標値に達していない状況である。

目標項目 とめる	H27実数 2015	R3中間目標 2021	R3実数 2021	見直し前	見直し案
				R8目標 2026	R8目標 2026
放置自転車台数* (台/日)	213	160	54	100	30
市民満足度 (自転車の駐車環境) (%)	25	40	33	50	50

※市内駅付近の15箇所において調査を実施

施策の見直しについて

■ 自転車駐車場の質の向上 ※継続拡充

○機械化、満空表示や子ども乗せ自転車専用スペースの設置など、利用者が使いやすい質の改善を各駅に拡大していく。



電磁ラック



機械式ゲート



子ども乗せ自転車専用スペース



満空表示

「つかう」について

施策の進捗と評価

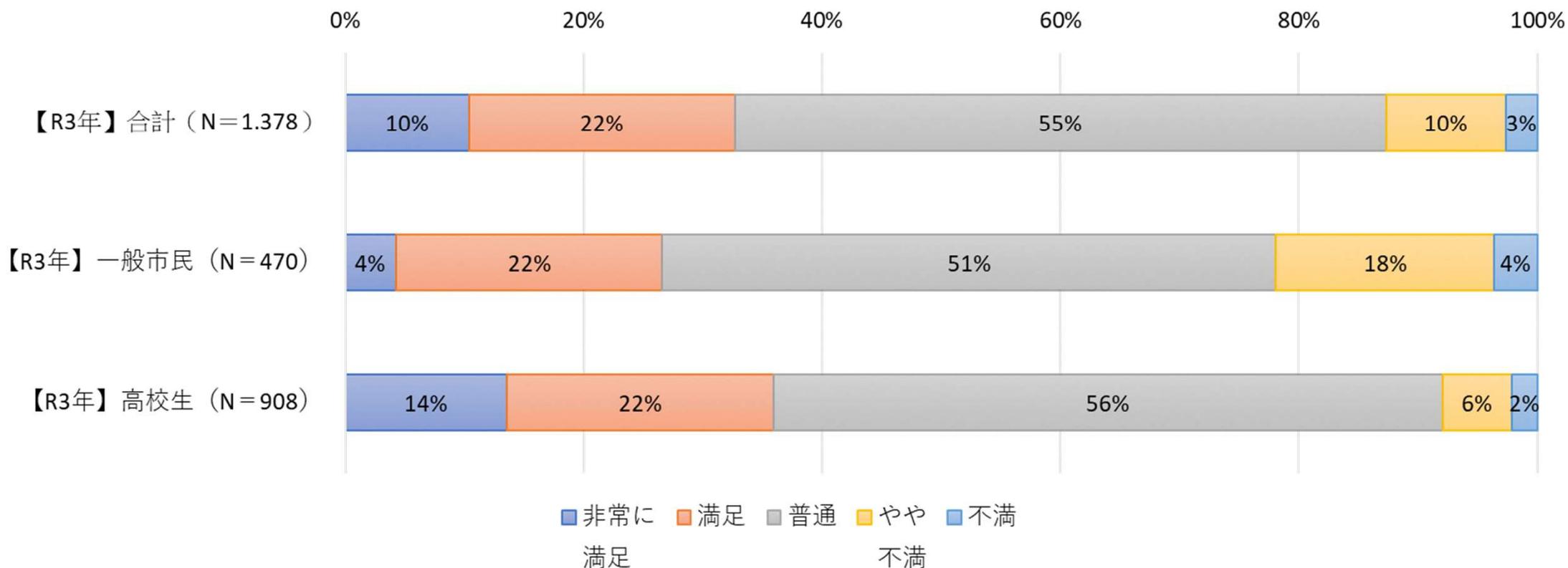
項目	方向性	具体的な取組内容	実施スケジュール			評価	平成29年度～令和3年度の取組状況(予定含む)	今後の取組等の予定	
			中間見直し						
			短期 ～3年	中期 ～6年	長期 ～10年				
つかう	1	既存の駅型レンタサイクルの充実と利用促進	検討	実施		—	R1まで吹田市ホームページ上や自転車駐車場でレンタサイクルについての情報を掲載していたが、R2にシェアサイクルの社会実験を開始するとともに廃止	—	
		コミュニティサイクル事業の導入の検討	実験	実施		○	令和3年1月15日から令和6年3月31日までの期間を設定し、主に市営駐輪場・市施設において実証実験を開始。開始時のサイクルポート19箇所。	民間所有地をはじめサイクルポートの増設を図る。また、利用状況を分析し、今後の方向性(本格実施)を検討。	
	2	自転車通勤の促進	企業等と連携した自転車通勤の促進	検討	実施		×	進捗なし	ホームページで自転車通勤導入の手引き等を紹介する
		自転車通勤促進企業の表彰制度の実施					×	進捗なし	吹田市役所内で自転車通勤の促進を行う
	3	自転車利用に関する総合的な発信	ホームページ等を活用した自転車に関する情報の提供	随時実施			△	大阪府警本部ホームページの「自転車の交通安全ルールブック」にリンクを貼っている。ホームページ・市施設等において自転車保険等の利用に関する情報を掲示。	内容及び発信の充実を検討
	4	自転車関連イベントの開催・支援	自転車の理解・興味等を促す機会の創出	随時実施			×	進捗なし	万博公園などで開催されるサイクルイベントに参加及び支援する
			サイクルイベント等の開催支援				×	進捗なし	

市民アンケートの結果

総合的な自転車利用環境の満足度については、全体で「非常に満足・満足」が約3割、「不満・やや不満」が約1割と、満足の方が上回っている。

※前回の計画策定時のアンケートにおいては設問なし

総合的な自転車利用環境



目標値について

○市民満足度については、中間目標値に13ポイント達していない。

目標項目 つかう	H27実数 2015	R3中間目標 2021	R3実数 2021	見直し前		見直し案
				R8目標 2026	R8目標 2026	
市民満足度 (総合的な自転車利用環境) (%)	-	40	27	50	50	

吹田市シェアサイクル実証実験の開始

◆シェアサイクルとは

- 専用アプリを登録することで利用可。
- 好きな時間に、好きな場所（サイクルポート）で自転車を借りたり、返したりできる新しいサービス
- 電動アシスト付き自転車を使用
- 1つのサイクルポートでの往復利用も可能
- 他市のサイクルポート（豊中市等）への返却も可能



◆導入の目的

- ① 公共交通機関と連結し東西への移動を補完する。
- ② バス路線で補えない小回りの利く交通手段により、地域の回遊性が向上。
- ③ 違法駐輪を減らし、地域の美化、歩道の安全性を高める。
- ④ 通勤、通学の時間短縮と健康の増進、二酸化炭素排出量の抑制。
- ⑤ 災害時、鉄道の不通、交通集中により移動が困難な場合の移動手段。
- ⑥ コロナウイルス対策として「密」を回避する移動手段

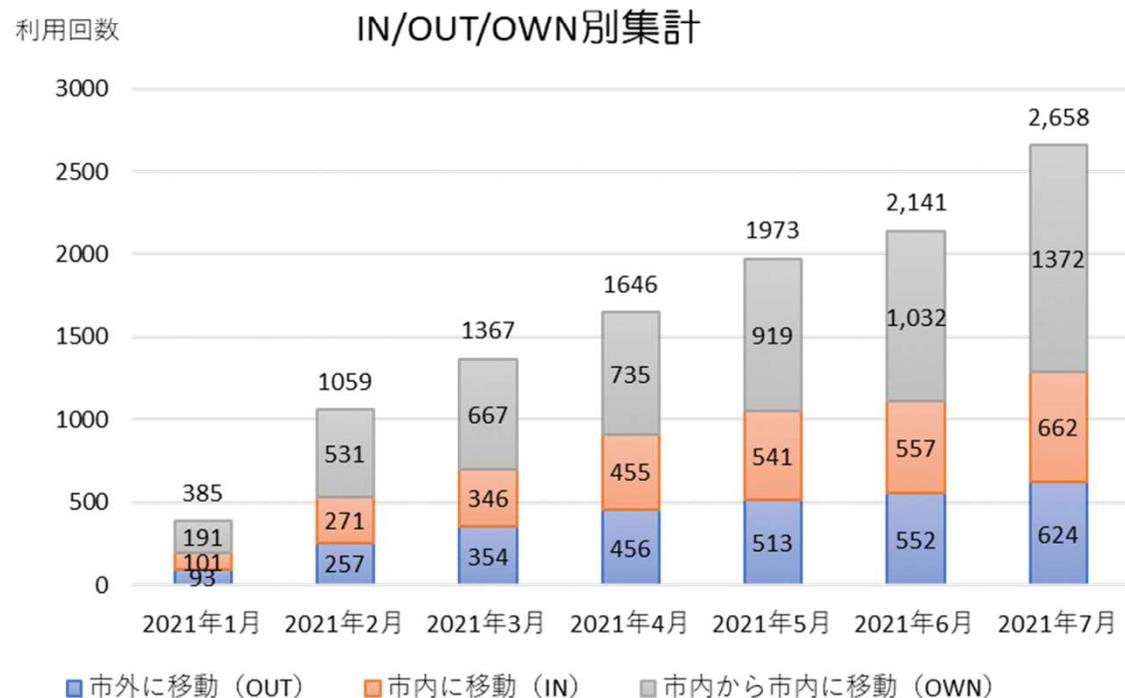
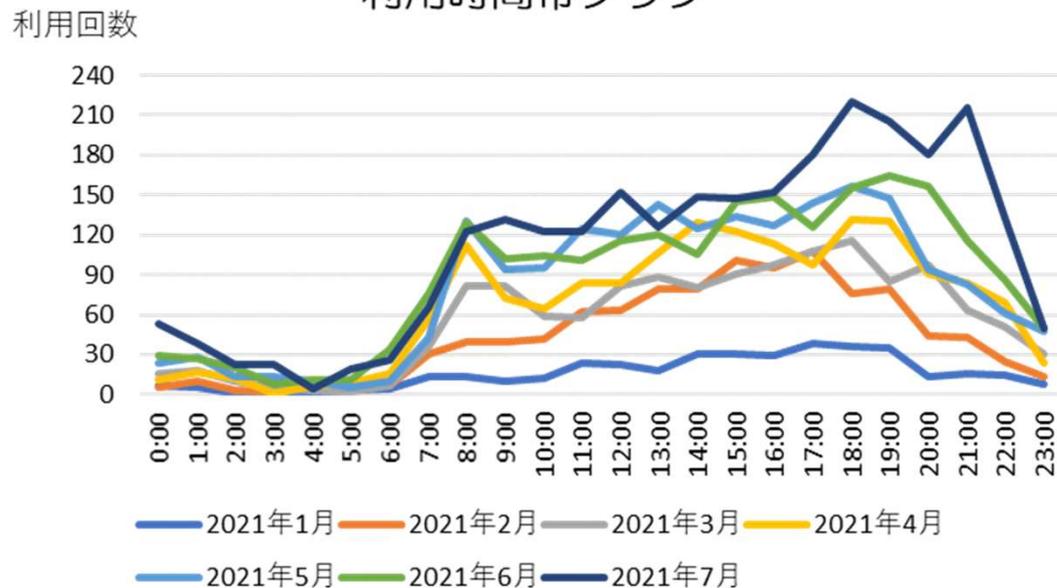
◆実証実験期間

令和3（2021年）1月15日（金）から令和6年（2024年）3月31日（日）まで

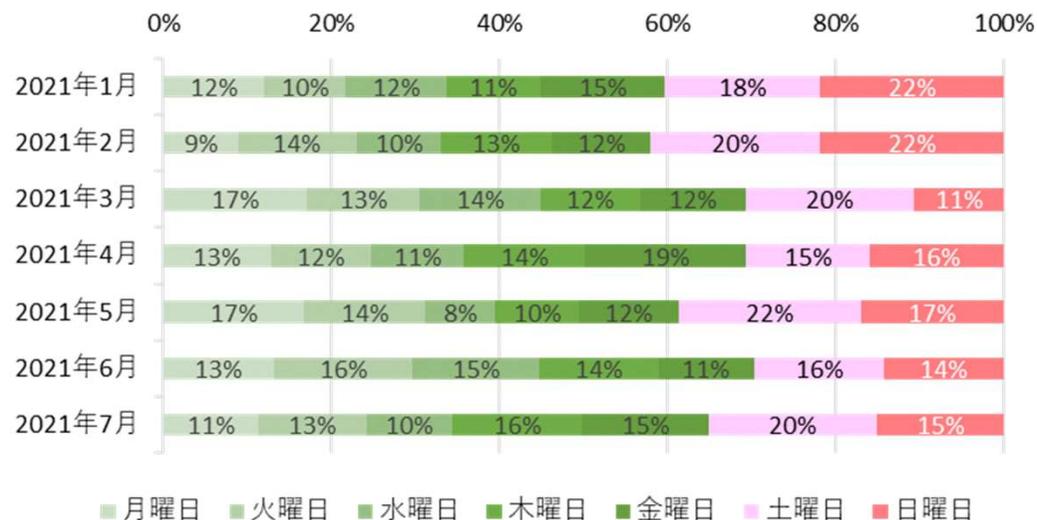
◆シェアサイクルの利用状況 (2021年1月～7月)

- 利用は増加傾向
- 19ポートで開始し、現在は37ポートに増加
- 市内完結の移動と市内と市外の行き来の移動が同じ程度
- 平日よりも土日の利用率がやや高い
- 朝の通勤・通学の時間帯に利用者が増え、昼間はそのまま横ばいで、夕方から夜間にやや増える傾向が見られる

利用時間帯グラフ



曜日別利用割合



- 主に市営自転車駐車場、市営施設においてサイクルポートを設置し、利用者数の増加を確認。
- つかう「自転車利用の促進」を促進するため、民地を始めサイクルポートの増設を図り、利用状況を分析し、今後の方向性を検討
- 将来的に公共交通などとの連携も検討

◆吹田市のサイクルポート

1 阪急北千里駅前東第1自転車駐車場	21 吹田市立中央図書館
2 阪急山田駅前東自転車駐車場	22 吹田市立山田ふれあい文化センター
3 北大阪急行桃山台駅前東第2自転車駐車場	23 紫金山公園
4 阪急豊津駅前南第2自転車駐車場	24 佐井寺南が丘公園
5 阪急吹田駅前南自転車駐車場	25 吹田市立健都ライブラリー
6 江坂駅前中央自転車駐車場	26 万博記念公園駅下
7 江坂公園自転車駐車場	27 万博記念公園西口下
8 南高浜自転車駐車場	28 万博記念公園東口駅前広場
9 J R吹田駅前北自転車駐車場 ※1	29 敷島住宅 JuA (昭和町)
10 J R岸辺駅前北自転車駐車場	30 UR賃貸住宅 片山公園 (C4号棟西側)
11 市役所正面玄関前	31 UR賃貸住宅 千里青山台 (C11号棟西側)
12 吹田市立千里丘市民センター	32 UR賃貸住宅 千里青山台 (C64号棟西側)
13 吹田市立北千里市民体育館	33 UR賃貸住宅 千里桃山台 (集会所西側)
14 吹田市立山田市民体育館	34 UR賃貸住宅 千里津雲台 (集会所東側)
15 中の島スポーツグラウンド管理棟	35 UR賃貸住宅 千里春日台 (4号棟西側)
16 吹田市立目儀市民体育館	36 UR賃貸住宅 千里山 (キリ1号棟西側)
17 千里南公園	37 UR賃貸住宅 千里桃山 (バスロータリー付近)
18 サイクルベースあさひ摂津千里丘店	
19 サイクルベースあさひ千里中央店	
20 吹田市立男女共同参画センター	

※1 準備ができ次第オープンします

©2021年7月中旬時点の情報

